

## 日本学術会議 地域研究委員会（第25期・第2回）

### 議事要旨

日時： 2021年4月21日（水）16:30～17:48

場所： 日本学術会議5-B会議室（5階）＋オンライン

出席者：[委員] 小長谷有紀（委員長）、春山成子<以上、会場参加>、松原宏（副委員長）、宇山智彦（幹事）、高倉浩樹（幹事）、栗田禎子、黒崎卓、高橋裕子、三尾裕子、矢野桂司<以上、オンライン参加>

[委員以外の分科会委員長] 井田仁康、近藤昭彦、竹沢泰子、羽場久美子、宮町良広<以上、オンライン参加>

議事：

#### 1. 地域研究委員会各分科会の活動報告、今後の連携のあり方について

以下の分科会について、活動方針・状況・成果が報告され、情報・意見交換を行った。

多文化共生分科会（竹沢）

文化人類学分科会（高倉）

地理教育分科会（井田）

地球環境変化の人的側面(HD)分科会（近藤）

地域研究基盤強化分科会（小長谷）

地域情報分科会（矢野）

人文・経済地理学分科会（松原）

地域学分科会（宮町）

アジアの地域協力の学術的ネットワーク構築分科会（羽場）

アジア研究・対アジア関係に関する分科会<史学委員会を中心とする合同>（栗田）

また、第一部総合ジェンダー分科会の活動について三尾から、学術情報のデジタルトランスフォーメーションを推進する学術情報の基盤形成に関する検討委員会の活動について高倉から紹介があった。

報告および情報・意見交換の中では、前の期の提言のフォローアップ、他の政府機関・研究機関・自治体および海外の学術会議との協力、分科会同士の連携、文理融合、マスタープランへの関わり方、高校教育への貢献、シンポジウムなどを通じての社会への効果的な成果発信の方法、学術におけるジェンダー問題への取り組みの必要性など、多くの論点が議論された。

以上